







前期のゴールに向けて学校再開！健康にご留意を！

連日の厳しい暑さで熱中症が懸念された夏休みでしたが、先生方はいかがお過ごしでしたか。日頃の疲れを癒やし、9月からのパワーを蓄えることができたことを願っております。

さて、夏休みも明け、静かだった校舎に子供たちの元気な声が戻ってきました。前期後半が始まり、前期のまとめと振り返りの時期となります。学期末は業務が増え、疲れがたまりやすい時期ですが、先生方に、毎日、子供たちの前で笑顔でいられるよう、休養や睡眠を十分に取っていただき、健康に留意してお過ごしください。

9月の予定

市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

月	火	水	木	金	土	日
				1 前期後半開始	2	3
4 宿泊学習（国小） ～5日	5	6 市小学校校長会 S&U （石橋小、石橋北小）	7 市教頭会 14:00	8 コミュニケーションデ ー（石北小） 養護教諭部会 14:00 栄養教諭・学校栄養職員 研修 13:30	9	10
11 教育支援委員会① 13:00	12 新聞の日③ 宿泊学習（石北小） ～13日	13 定例教育委員会⑥	14 コミュニケーションデ ー（細谷小）	15 特別支援学校・県立 高等学校細則説明会 県立中入試説明会 （オンライン）	16 少年の主張 発表県大会 体育祭（二中・ 石中・国中）	17 中学生海外 派遣～23日
18 敬老の日 	19 宿泊学習（南河内小 中前期）～20日 振替休日（二中・石中・ 国中）	20 小中一貫の日（南河 内小中區）	21 通級指導教室 担当者研修②15:00	22	23 秋分の日 市音楽祭	24 
25 下地区音楽祭（中）	26 下地区音楽祭（小） 下中教研 A	27 定例校長会議9:00 S&U（緑小、国東小） 要請訪問（二中）	28 ICT カフェ③ 17:30	29 下地区新人体育大会 （～10/1） 気になる子どもの ケーススタディ① 17:00	30	

中学生議会では生徒が大活躍！

8月18日(金)に市役所にて中学生議会が開催されました。中・義務教育学校から各校の代表4名の生徒が参加し、議長として議事進行を務めたり、市執行部への質問をしたりしました。

本中学生議会では、生徒たちが市の課題を自ら考え、根拠を明確にして主張をし、社会の形成に主体的に取り組もうとする姿が見られました。その成果を校内でぜひ共有してください。



市初任者研修会を開催～若い力を子供たちのために～

8月8日(火)に市初任者研修会を実施しました。ここ数年、新型コロナウイルス感染症対策により半日開催が続いておりましたが、本年度は1日開催で実施しました。

教育長講話では、教員としての心構え、教師同士で連携することの大切さ、教師という仕事の素晴らしさに関する話のほか、教育長の貴重な教職経験のお話も伺いました。管理主事講話では、教職員の守るべきサービスについて学ぶとともに、一緒に初任者となった仲間たちを大切にして頑張ってもらいたいというメッセージが送られました。

現地研修では、下野薬師寺歴史館やしもつけ風土記の丘資料館、石橋図書館等を見学し、下野市の歴史や施設等について学ぶとともに、地域教材や人材を活用したふるさと学習の意義などを確認しました。

下野市に勤務する同期の仲間と時間を共有でき、参加された先生方には笑顔が見られました。初任者の先生方は、日々悩みながらも子供たちのために考え工夫しながら指導をされていることが、話合いの際にうかがえました。本研修での学びを生かし、下野市の子供たちのためにお力添えをお願いします。

～参加者の振り返りから～

- ・教育長講話のお話では、これからの教員生活を乗り越えるヒントになる貴重な話を伺った。子供が良い方向に成長していけるように将来を見据えて関わることが大切だと思った。
- ・下野市には素敵な歴史が多くあるため、子供たちのふるさと愛を育む中で生かしていきたい。
- ・公務員としての自覚をもち、日々の行動、言動などに気を付けていきたい。
- ・同期の先生方と一日活動し互いに刺激になった。今後も高め合いたい。



市特別支援教育研修会を開催～療育と教育の連携～

8月9日(水)に市特別支援教育研修会を実施しました。今年度は、こばと園作業療法士 児矢野直美先生をお招きし、作業療法士の視点から、「教育現場で生かせる作業療法」についてお話を伺いました。研修会には、こばと園の5名の先生方にもお越しいただき、どのようにして支援計画を立てているのか、どのような療育を行っているのかをお話しいただきました。

～児矢野先生のお話から～

苦手な行為があるとき、苦手となる要因は一人一人異なる。その要因を見立てて支援することが大切。初めて自転車に乗るときを例に・・・

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ①自転車に乗ることを認識し、意欲をもつ | ②どうやって乗るかアイデアが浮かぶ |
| ③動作の組み立てや順序が脳の中で組み立てられる | ④やってみてうまくいかなければ調整してみる |

①～④のどのプロセスでつまづいているのかを見立てることで、適切な支援が見えてくる。

↓
道具を利用することで作業をしやすくしたり、楽器の演奏や縄跳びなどの動作であれば、動作を分割することで分かりやすくしたり、子供に合う支援方法を考える。

～参加者の振り返りから～

- ・児矢野先生の講話は、学校で生かすことができる手立てが多く今後実践したい。
- ・最後までやり遂げさせてあげることや自信に繋がるような支援をしていきたい。
- ・個別の教育支援計画作成に関して、こばと園の実践が大変勉強になった。

療育は子供一人一人の支援について綿密に考えた上で行われていますので、療育の計画を学校での「個別の教育支援計画」に生かしていくことが大変有効です。

